

上末吉小学校 建替事業説明会

次第

日時：令和5年1月13日（金）

午前10時00分から

場所：上末吉小学校 図書室

1 開会挨拶

2 学校建替事業について

(1) 横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針

資料1

(2) 新しい学校の整備水準など

資料2、3

(3) 今後のスケジュール

資料4

3 その他

上末吉小学校の建替えを契機に改善したい地域課題（照会）

■配布資料

1 次第

2 説明資料1～4

3 上末吉小学校の建替えを契機に改善したい地域課題 提出用紙

《お問い合わせ先》

教育委員会事務局 教育施設課計画推進係

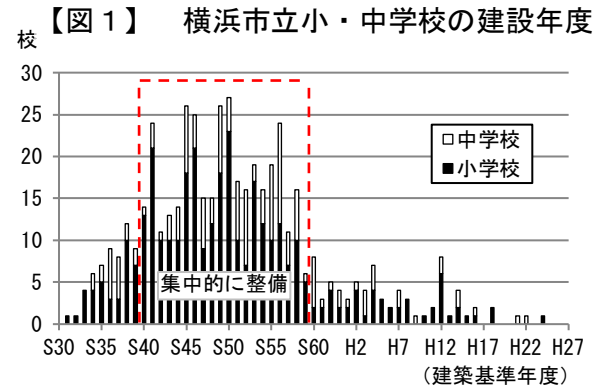
TEL：045-671-3531

FAX：045-664-4743

横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針〈概要版〉（平成 29 年度当時）

1 学校施設を取り巻く現状と基本方針の策定

- 本市では、学齢期人口の急増に対応し、昭和40年代から50年代にかけて集中的に学校施設を整備してきました（図1）。従来は築40年ほどで建替えを行ってきましたが、現状では5割以上の学校が築後40年を経過している状況です。10年後には、この割合は9割近くにまで上ります。
- 本市の小・中学校施設のほとんどが現行の整備の基準を下回っている状況です。また、グラウンドの面積は、全国の指定都市や都区部と比べても最低水準にあります。
- 本市では、長寿化基本方針に基づき、学校施設を築70年まで使用することとなっていますが、その時期も見え始めています。効率的、効果的に、1校1校が最善の形で建替えを進められるよう、学校施設建替えに関する基本方針を策定します。



2 学校施設建替えの考え方

- 基本方針の対象
学校施設の機能向上などの整備内容の見直しや耐震補強による室内環境への影響を考慮して、昭和56年度以前に建設された学校を対象とします。
- 事業期間・事業費
事業期間は対象校が築70年を超えない範囲の平成63年度までとします。試算では、事業費が約1兆円と膨大なため、施設量の縮減、維持管理の一層の効率化等により負担軽減の取組を進めます。平準化のために一部を前倒して建替えを実施し、平成32年度の工事着手を目標とします。
- 建替校選定の考え方
- ・築年数の古い学校から行うことを基本とします。最古の校舎の築年数が原則として70年を超えないように配慮しつつ、学校施設全体の平均築年数を基に判断します。
 - ・全面建替を基本としますが、建設後の年数が比較的浅く、建替後の全体計画に影響が少ない場合には部分的に建替えを行うこととします。
 - ・学校施設の「機能改善」、「学校統合」、「公共施設等との複合化」といった視点からも必ず検討します。

【機能改善】

教育環境に課題が多く、改修による改善が見込めない学校（特殊な形状や配置の学校、整備の基準を大きく下回る学校など）について、建替えにより課題解決を図ります。

【学校統合】

小規模校では教育活動、学校運営上多くの課題があり、学校統合を進めていく必要があります。統合時に建替えを行うことで、教育環境の大幅な改善や工期の短縮が図れます。

【複合化】

公共施設等と複合化することで、その機能を授業や学校行事等、学校教育で活用します。また、複合施設が拠点施設として地域まちづくりの推進に資するよう、配慮していきます。

■建替後の学校施設の整備内容

- ・より良い教育環境の整備を目指し、最新の整備の基準や仕様を基に施設計画を行います。また、建物及びグラウンド等の必要面積を確保するため、建物の高層化や地下利用を検討します。

3 建替えの進め方

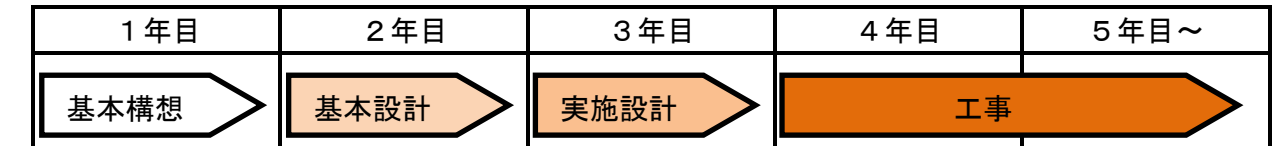
■建替校の選定

- ・「2 学校施設建替えの考え方」を基に、効率性や事業効果を総合的に考え、建替えを進めていきます。ただし、国庫補助の導入対象に該当しない場合や小規模校化が見込まれる場合等は建替えを見送ります。
- ・教育委員会事務局内に選定会議を設置し、上記の内容を踏まえたうえで、選定会議の場で建替えを行う学校を選定します。

■事業着手から建替工事の進め方

- ・建替えまでの目安としては、1年目に基本構想、2年目に基本設計、3年目に実施設計、4年目以降に建替工事を実施します。工期は2年程度を目安としますが、工事の進め方や内容によっては、3年以上要する場合もあります。
- ・整備にあたっては、基本構想に着手するまでにまちづくりの観点から地域の声を反映しながら区局横断的に調整を進めていきます。

【図2】 建替えまでの目安



4 建替えを進める上での留意点

- 地域まちづくりの推進への配慮（学校施設建替えにあわせた地域課題の解決）
- 学校の伝統やシンボルへの配慮（地域に親しまれている伝統的な意匠などを極力継続して設置）
- 地域防災拠点（建替工事により防災拠点が利用制限される場合に対する事前調整と周知）
- 学校施設の目的外利用（建替工事により学校開放等が利用制限される場合に対する事前調整と周知）
- 効率的な事業執行（公民連携手法を含め、最も効率的な進め方での事業推進）
- 財政負担の軽減（国への財源確保の働きかけ、市の方針に基づく土地、建物等の資産の有効活用、横浜市学校施設整備基金の活用等）
- 環境に配慮した学校施設の整備（太陽光の利用や照明のLED化、木材利用の促進）
- 特別支援学校、高等学校の建替えについては別途検討

5 今後の取組

- 新しい学習内容にも対応できるよう、長期的な視野を持ち、より良い手法を模索しながら建替えを進めていきます。また、他の自治体の参考となるような事例にも積極的に取り組んでいきます。
- 今後も既存施設の保全は重要です。建替えの時期を踏まえ、効率的に保全を行い、良好な学習環境の維持に努めていきます。
- 建替えを進めていくうえで、社会情勢等の大きな変化や全市方針の大きな転換などにより、基本方針の内容が実態に合わなくなった場合には、当方針の見直しを行います。

上末吉小学校の現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について

R4.4時点

種別	室名	整備水準(小学校14CR)		現行		建替後(予定)	
		CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)
教室	1 普通教室	学級数		19.0	1216.0	14.0 [※]	896.0 ▲
	2 個別支援教室	学級数		6.0	384.0	6.0	384.0
	3 特別支援教室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0
特別教室	4 理科教室	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0
	5 音楽教室	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0
	6 家庭科教室	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0
	7 図画工作教室	2.0	128.0	1.3	83.2	2.0	128.0
	8 図書室	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0
多目的室	9 教育相談室・耐火書庫	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
	10 多目的室(水廻り学習等)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	11 多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0	0.0	0.0	2.0	128.0
	12 多目的室(少人数指導)	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0
管理諸室	13 多目的室(学校指定)	2.0	128.0	0.0	0.0	2.0	128.0
	14 校長室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0
	15 職員室	2.5	160.0	2.0	128.0	2.5	160.0
	16 事務室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0
	17 保健室	1.0	64.0	1.0	64.0	1.0	64.0
	18 保健相談室・教材教具室②	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0
	19 放送・スタジオ室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0
	20 会議室	1.0	64.0	1.0	64.0	1.0	64.0
	21 印刷室	0.5	32.0	0.3	19.2	0.5	32.0
	22 職員更衣室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0
	23 技術員室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0
	24 休養室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
	25 職員・来校者用玄関	0.5	32.0	0.3	19.2	0.5	32.0
	26 変電室	1.0	64.0	別棟		1.0	64.0
	27 教材教具室①	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0
	28 倉庫	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
その他	29 PTA会議室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
	30 地域交流室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
	31 児童更衣室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0
	32 昇降口	1.5	96.0	2.5	160.0	1.5	96.0 ▲
	33 キッズ	適宜	適宜	建替えない		建替えない	
	34 給食室		350.0		307.4		350.0
	35 EV		1基		0基		1基
	36 屋内運動場(アリーナ面積)		560.0		378.0		560.0
	37 プール		適宜		適宜		適宜
	38 共用部(トイレ・廊下・階段等)		適宜		適宜		適宜
				約3,660		約4,310	

※令和10年度の想定学級数

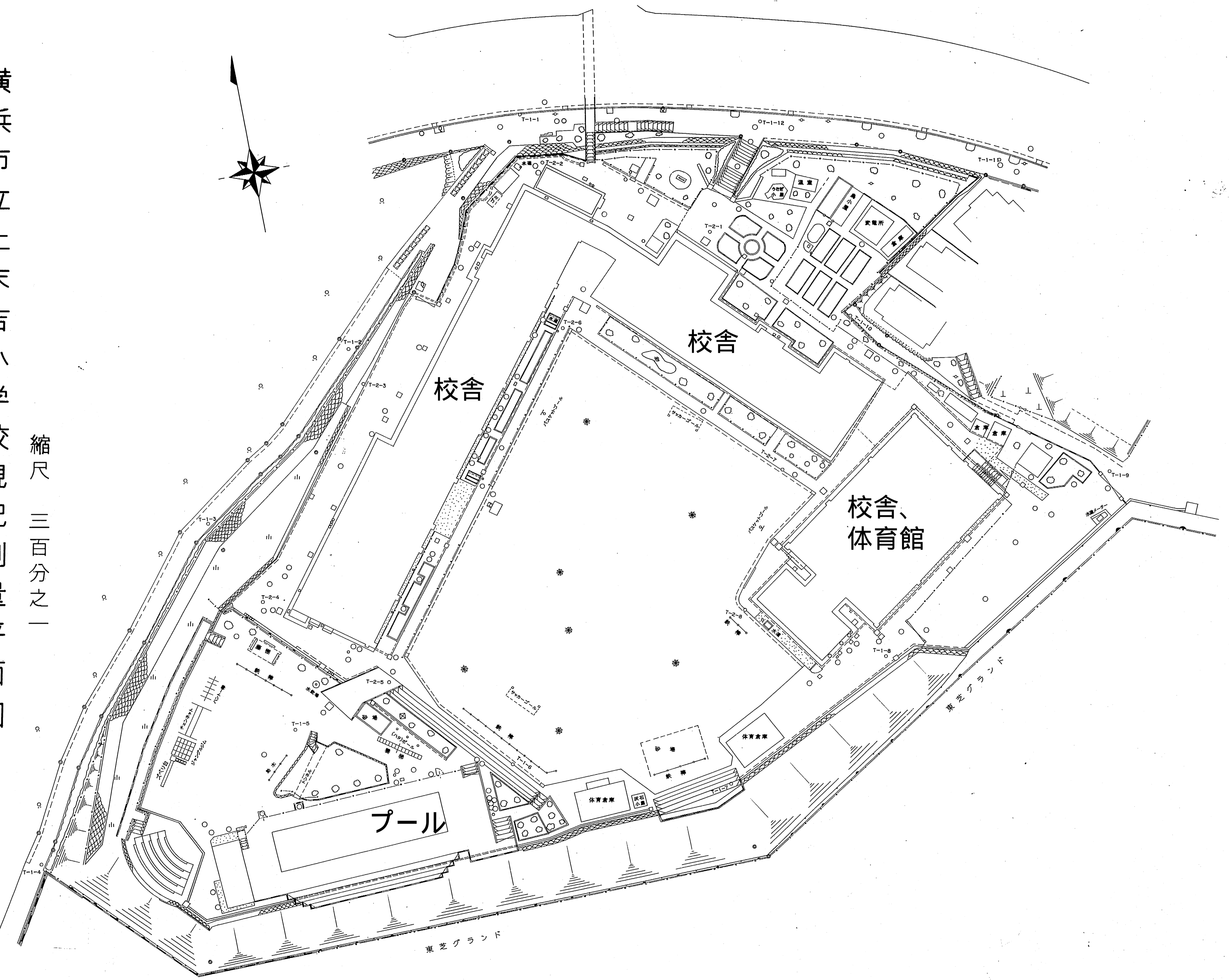
…現行から増加
▲ …現行から減少
面積はおおよそになります。

・授業を行う普通教室や個別支援教室は、児童数に合わせて整備します。
 ・教育内容の変化により必要となった多目的室、会議室や地域交流室も、今回の建替えに合わせて整備します。
 ・屋内運動場(アリーナ面積)は、約180㎡広くなります。
 ・防災備蓄庫等、地域が使用する倉庫の配置等は、設計時(令和5年度以降)に検討します。

学 校 番 号	年 度 区 分	工 事 名
第 - 14 3 既		
図 面 番 号	地 質 測 定	家 屋 測 定
16-2		

横浜市立上末吉小学校現況測量平面図

縮尺 三百分之一



乙

平 成	年 度	工 事 第	号
工 事 名	横浜市立上末吉小学校校庭整備 工事		
図 面 名	現況測量平面図		
縮 尺	1:300		
設計年月日	平成 年 月 日	図面番号	30枚中のNo.2
課 長		設 計 者	
横浜市立上末吉小学校校庭整備課			
主任		監 理 者	

【新築した校舎の事例】

●港北区 箕輪小学校（令和2年4月1日供用開始）



図書室



図工室

裏面あり

●西区 みなとみらい本町小学校（平成30年4月1日供用開始）



体育館



普通教室

●鶴見区 市場小学校けやき分校（令和2年4月1日供用開始）



昇降口



トイレ

上末吉小学校建替え 今後のスケジュール（予定）

令和4年度

- 1月13日 ・ 事業説明会、地域課題等提出依頼
- 2月17日 ・ 地域課題等提出期限（提出は任意）
- 3月31日 ・ 基本構想策定

令和5年度以降

- ・ 地域課題解決の御提案に対する本市考え方（書面送付）
- ・ 設計着手
- ・ 建替えプラン検討状況の情報提供（資料送付）

令和7年度以降

- ・ 建築計画説明会

令和8年度以降

- ・ 工事説明会
- ・ 工事着手

※スケジュールは、令和5年1月13日現在の想定です。
今後、諸事情により前後する可能性があります。

上末吉小学校の建替えを契機に改善したい地域課題 提出用紙

■団体名： _____

■地域課題	■課題解決に向けた提案
<p>(記入例)</p> <ul style="list-style-type: none">• 地域開放等でグラウンドを利用している。• 体育館の近くに防災備蓄庫がないため、防災訓練や発災時に物資の搬出入に時間を要する。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none">••	<p>(記入例)</p> <ul style="list-style-type: none">• 現在のグラウンド面積は維持してほしい。• 体育館の近くに防災備蓄庫を設置してほしい。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none">••

※ 団体のご意見としてご提出ください。(提出は任意です。)

※ 地域の皆様と必要な情報を共有しながら建替事業を進めていくため、ご提出いただいた地域課題等及びご提案に対する本市の考え方等は市HPに掲載等を予定しています。

※ ご意見等に付記された個人情報は、適正に管理し、本件に関する業務のみに利用いたします。

提出期限：令和5年2月17日(金) (消印有効)

提出先：横浜市教育委員会事務局 教育施設課計画推進係

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

E-mail ky-shisetsu@city.yokohama.jp / FAX 045-664-4743